

**製品名: RUNX ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02561**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.16mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 49 kDa; Observed MW: 49 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RUNX1/RUNX2/RUNX3
別名	RUNX1; AML1; RUNX2; OSF2; RUNX3; CBFA3
遺伝子 ID	861/864/860
SwissProt ID	Q01196/Q13761/Q13950
免疫原	ヒト RUNX1/2/3 の合成ペプチド

**背景**

RUNX2 は、エンハンサーまたはプロモーターのコア部位に結合し、オステオポンチン、骨シアロプロテイン、オステオカルシナ

ど、様々な遺伝子の転写を制御します。RUNX3/AML2はRuntファミリー転写因子に属します。RUNX3は、胃上皮細胞における細胞増殖の抑制、背根神経節における神経新生、そしてT細胞分化に重要な役割を果たします。

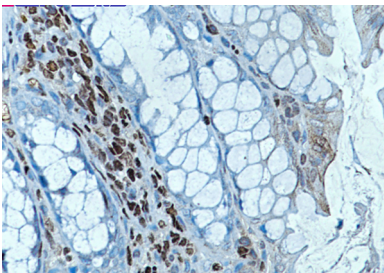
## 研究分野

神経科学

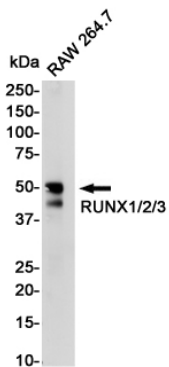
## 画像データ



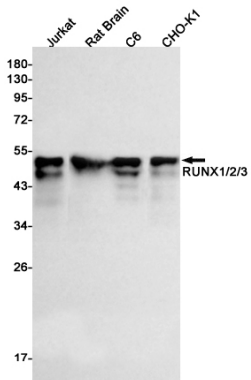
RUNX抗体とDAPI（青）を使用した、JurkatにおけるRUNX（緑）の免疫細胞化学分析。



RUNX抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



RUNX1/2/3抗体を用いたRAW264.7ライセート中のRUNX1/2/3のウェスタンブロット解析



RUNX1/2/3 抗体を使用した、Jurkat、ラット脳、C6、CHO-K1 溶解物中の RUNX1/2/3 のウエスタンブロット分析。